

みんなでいじめをなくすために

兵庫県・兵庫県教育委員会

兵庫県では、すべての子どもたちがいじめを行わず、いじめを認識しながら放置することがないように、子どもたち自らが考え、協力して問題を解決する力や思いやりの心を育てる取り組みを推進しています。この機会にいじめの問題について話し合い、いじめ防止への理解を深めましょう。

県内で、子どもたちによる、いじめやネットトラブルをなくそうとする取り組みが広がっています。

全国いじめ問題子供サミット

子どもたちがいじめ対策について話し合う「全国いじめ問題子供サミット」が、平成28年1月、文部科学省で開催され、兵庫県の生徒を含む全国の小中学生約140名が参加しました。サミットでは、「いじめを見つけたらどうする」をテーマに意見が交わされ、以下のように決意表明をしました。



「STOP! 見るだけ先生 見るだけ生徒」
「勇気をもって心の声を伝えよう」

毎月25日は「ノースマホ」(たつの市)

スマートフォン(スマホ)に依存せず、家族で会話する時間を取り戻そうと、たつの市内の全6中学校の生徒会が合同で毎月25日を「ノーゲーム・ノースマホデー」と定め、市内の全小中学校にチラシを配布して、啓発活動を展開しています。



こうべっ子いじめ防止広域キャンペーン

神戸市では、全中学校区で開催してきた「いじめ防止小中地域会議」に加え、近隣校が協力して、より広域でいじめ防止活動を行う「こうべっ子いじめ防止キャンペーン」を市内10地域において実施しています。これにより、いじめ防止に対する児童生徒の意欲や地域の関心を高め、地域ぐるみのいじめ防止対策の推進を目指しています。



いじめ防止を考える生徒会交流会(赤穂市)

赤穂市では、市内の中学校が交流会を開き、各校の生徒会が作成・実施したアンケートを基に、いじめをなくすにはどうすればよいか、自分たちにできることは何かを考えるグループ別協議を行いました。これを受けて、生徒会を中心に、市内の全小中学校でいじめをなくす取り組みを進めています。



各ご家庭や地域においても、すべての子どもたちが笑顔あふれる学校生活を送れるよう、子どもたちを見守り、いじめの問題を克服するための取り組みにご協力をお願いします。

<兵庫県いじめ防止基本方針について>

本県では、いじめの防止等(いじめの未然防止、早期発見、早期対応)に関する基本方針を策定しています。詳しくは県教育委員会義務教育課ホームページまで <http://www.hyogo-c.ed.jp/gimu-bo/ijimetaiou/ijimetaiou.htm> なお、各学校においても学校いじめ防止基本方針を策定しています。各校のホームページ等でご確認ください。

子どもの出すサイン(変化)に気づいていますか? ※早期発見・早期対応が大切です

～いじめはどの子どもも被害者・加害者となる可能性があります、大人の気づきにくいところで起こります～

●家庭で気をつけるポイント

いじめの被害者は、いじめられていることを言いにくい

- 家の人に心配をかけたくない
- いじめられたことを言ったことが分かると、さらにいじめられる心配がある

いじめの加害者は、いじめと認識せず、からかいやいたずらなどを遊び半分で行う

○

●子どもの出すサイン

- 元気がない
- メールの内容を気にしすぎる
- 学習意欲が低下する
- どこことなくおどおどしている
- 持ち物がなくなる
- 金遣いが急に荒くなる
- 登校をしづる
- 服装の汚れや破れが目につく
- 食欲がない
- 携帯電話・スマホを離さない
- 友達の話をしなくなる
- 成績が急に下がる
- 落書きが目立つ
- 金品を持ち出す
- あざや傷がある

- すぐかっとなって、暴力を振るう
- 言葉遣いが荒くなる
- 買った覚えのないものを持っている
- 友達を呼び捨てにする
- 友達に軽蔑した口調で話す

